

バイオサイエンスセミナー

平成21年9月24日(木)

17:00-18:00

大カンファレンスルーム

‘遠隔細胞の細胞膜を連結する TNT (tunneling nanotube)形成の分子機構‘

TNTはマクロファージや樹状細胞の細胞膜を連結することで、遠隔細胞間にCaシグナルなどを伝達する細胞間構造である。TNT形成の分子機構は不明であったが、われわれは、M-Secと名付けた機能未知の分子が、低分子量GTPase、のひとつであるRalやexocyst複合体と相互作用することにより、TNTの形成因子として機能することを見出した。

Dr. 大野 博司

理化学研究所・RCAI
免疫系構築研究チーム チームリーダー

主催：千葉バイオサイエンス研究会
共催：G-COEプログラム

連絡先：中山 俊憲(千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学)
TEL043-226-2185 内線5500